

第16回 番組審議会 議事録

開催日時：2018年1月31日（水）16：05～17：30

会場：京都府舞鶴市字円満寺 158-6 西市民プラザ 2階 市民活動団体活動室

委員総数：6人 出席：4人 欠席：2人

出席委員：水嶋純作、山内茂樹、今安博和、松井恭子

欠席委員：松本 泰、楠崇智

局側出席者：ジェネラルマネージャー 時岡浩二

放送局長 中西 進

制作チーフ 上田秀篤（順不同敬称略）

議 事

1. 局からの報告事項

- ① 新パーソナリティ2名の養成が1/21（日）に終了した。1名は2/1（木）から朝の番組を担当する。もう1名は収録番組等を含め検討中。また、昨年3月から産休・育児に専念していたパーソナリティが3月から復帰する予定。
- ② 12/23～24に赤れんがパークで開催されたクリスマスイベントを特別番組として生中継した。
- ③ 1/7に赤れんがパークで行われた舞鶴市成人式と舞鶴市長・新成人へのインタビューを特別番組として生中継した。
- ④ 1/1～7にラジオ年賀状を放送、受注社数/売り上げとも昨年より若干少なかった。
- ⑤ 「災害・防災情報提供サポーター」の募集し、養成講座を2～3月で実施することとした。講座修了者は登録し、平時・災害時に顔のみえる人から情報をもらうこととする。アマチュア無線クラブや消防団の人等を想定している。
- ⑥ 1月から番組編成を変更し、新番組表を発行した。新番組表には前回審議会のご意見を反映しパーソナリティの顔写真を掲載した。

【主な編成変更点】

- ウィークデイ 15時台生放送番組の再放送を翌日9時（金曜の再放送は翌週月曜の9時）から当日17時台に変更した。これにより、週末のイベント情報等が翌週に流れることがなくなった。
 - 前回の審議会のご意見を反映し、週末の録音番組の再放送の間隔を長くした。
- ⑦ 番組企画、コーナー企画等を文書化し、潜在顧客を回る際にわかりやすい説明ができるよう営業活動体制を強化した。これにより、2月から2社の番組協賛

が確定し、2社がほぼ確定した。

2. 議題

① 番組審議

2018年1月16日(火)放送 Premium Kyoto

パーソナリティ：キャッチー船戸（船戸一晴）

【主な意見】

- 本職の薬剤師の知識を活かし、確定申告における医療費控除の話はよかった。
- 医療費控除は税理士の分野ではあるが、国税庁のホームページなどで公開されている内容であるし、最後に「詳細確認は税務署へ」と言っていたのもよい。
- 医療費控除はリスナーにとってためになる内容であり、きちんとポイントを押さえていた。どこから聞かれても文句がないような内容にまとめていた。安心して聴ける内容であった。
- 七草がゆの話題はタイムリーで、ためになるトピックであった。
- 舞鶴市内の医療福祉の情報をよく放送しているが、この時間はRadio Mix Kyoto（コミュニティラジオ京都）を通じ、京都市内にも同時放送されており、何らかの工夫が必要かもしれない。

② 他の番組等に関する意見等

- 局からの報告にあった前回意見の点を早速改善したことを評価する。
- 新番組表に載せたパーソナリティの顔写真はもう少し大きい方がよい。
- J-WAVE の番組から舞鶴ローカルの番組の切り替わり目に「ここからはFM まいづるのスタジオからお送りします」、また逆にFM まいづるの番組から J-WAVE の番組に切り替えるときに「この後は、東京から J-WAVE の番組をお送りします」のようなアナウンスを入れるとメリハリがついてよい。
- 4/4 に舞鶴市制施行 75 周年記念「大相撲舞鶴場所」が開催されるが、地元の関心を高めるため、関連の番組またはゲストを招いて放送してはどうか。また、何らかの形で局の営業に利用してはどうか。

以上で審議は終了した。

この審議会の議事録は2018年2月6日から事務所で閲覧できるようにした。
この審議会の議事録は2018年2月6日からホームページで公開した。